

平成30年度SGH連絡協議会

～ 島根県立隠岐島前高校の事例を探究する ～



離島発 グローバルな地域創生を実現する「グローバル人材」の育成

「グローバル人材」とは？

- 1) 地球的視野で考えながら、足元から実践していける人材
- 2) ふるさとや地域を想いながら、世界中で挑戦できる人材

さらなる専門性、さらなる経験、さらなる志

グローバルビジョン創造力 'Glocal' Visioning

ビジョンを描く力
よりよい未来への意志

キャリア形成力
自己実現と社会貢献

「グローバル人材」育成に必要な力とは？

- 1) 多文化協働力
- 2) グローバルビジョン創造力
- 3) 探究的学習力
- 4) 社会的自立力
- 5) 地域起業家精神

ICT

海外でのフィールドワークを含む課題解決型プロジェクト学習

先進地視察

専門家や
大学との
連携

社会的自立力 Social Independence

コミュニケーション能力
課題発見力
課題解決力
主体性・規律性・柔軟性

探究的学習力 Inquiry-based Learning

生涯学び続ける力
語学力
情報処理力
学び・真理への探究心

多文化協働力 Multicultural Collaboration

違いを超えて連携する力
多様なものをつながる力
自他文化へ敬意と関心を持つ心
理解し、協働する態度

専門家や
大学との
連携

地域住民
地域産業
との連携

ディベート

地域でのフィールドワークを含む実践的アクティブラーニング

ダイアログ

地域住民
地域産業
との連携

地域起業家精神

Community Entrepreneurship

自ら進んで挑戦する力 選択肢と可能性を拓げる力

島前地域をはじめ世界中から集まる生徒がつくる多様性

「グローバル人材」を育成を支える7つの研究とは？

- 1) 地域起業研究
- 2) 国民総幸福量研究
- 3) 教育を核とした地方創生研究
- 4) ジオパーク研究
- 5) 持続・継承可能性研究
- 6) “よそ者”活用研究
- 7) 人口減少コミュニティ研究

「グローバル人材」育成に必要な評価とは？

- 1) 「21世紀型スキル」の観点などを取り入れたルーブリックを用いて評価規準を明確にする
- 2) ポートフォリオやパフォーマンス課題などを用いた評価手法を新たに導入する

学んだことを活用し、実践から学ぶ

Place, Problem, Project-based

地域づくり

学習

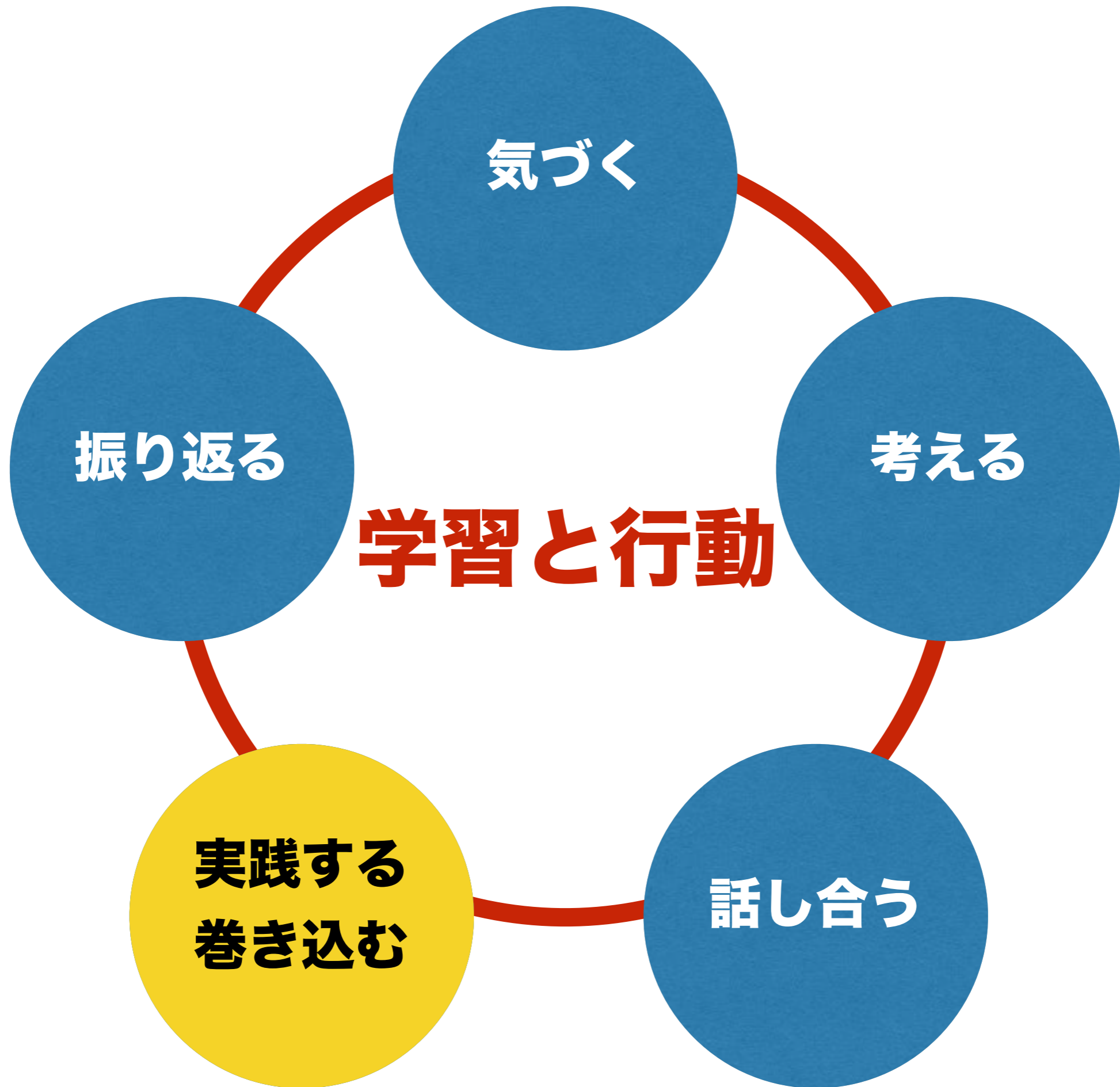
知識・技能習得

PBL

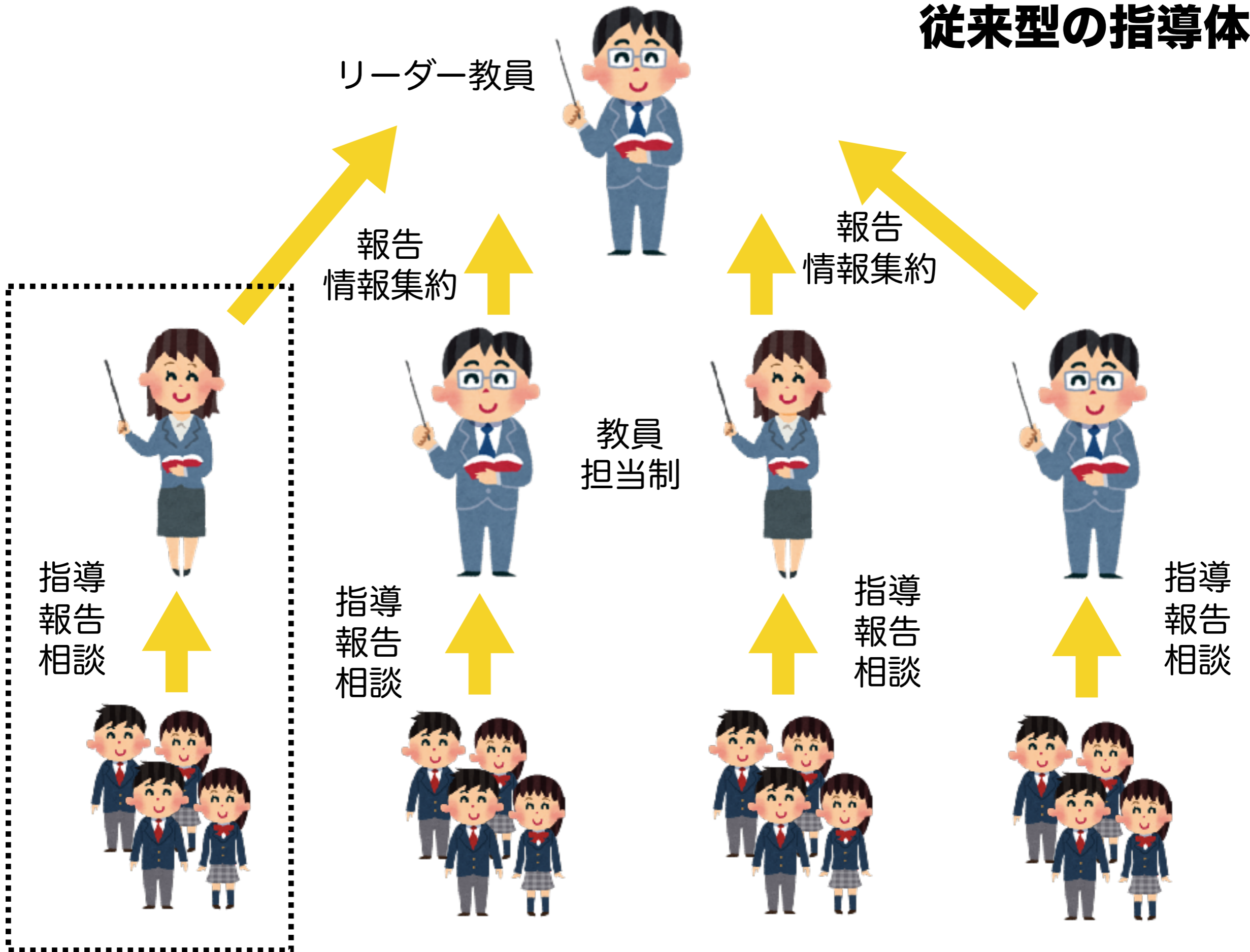
行動

課題解決・実践

人づくり



従来型の指導体制

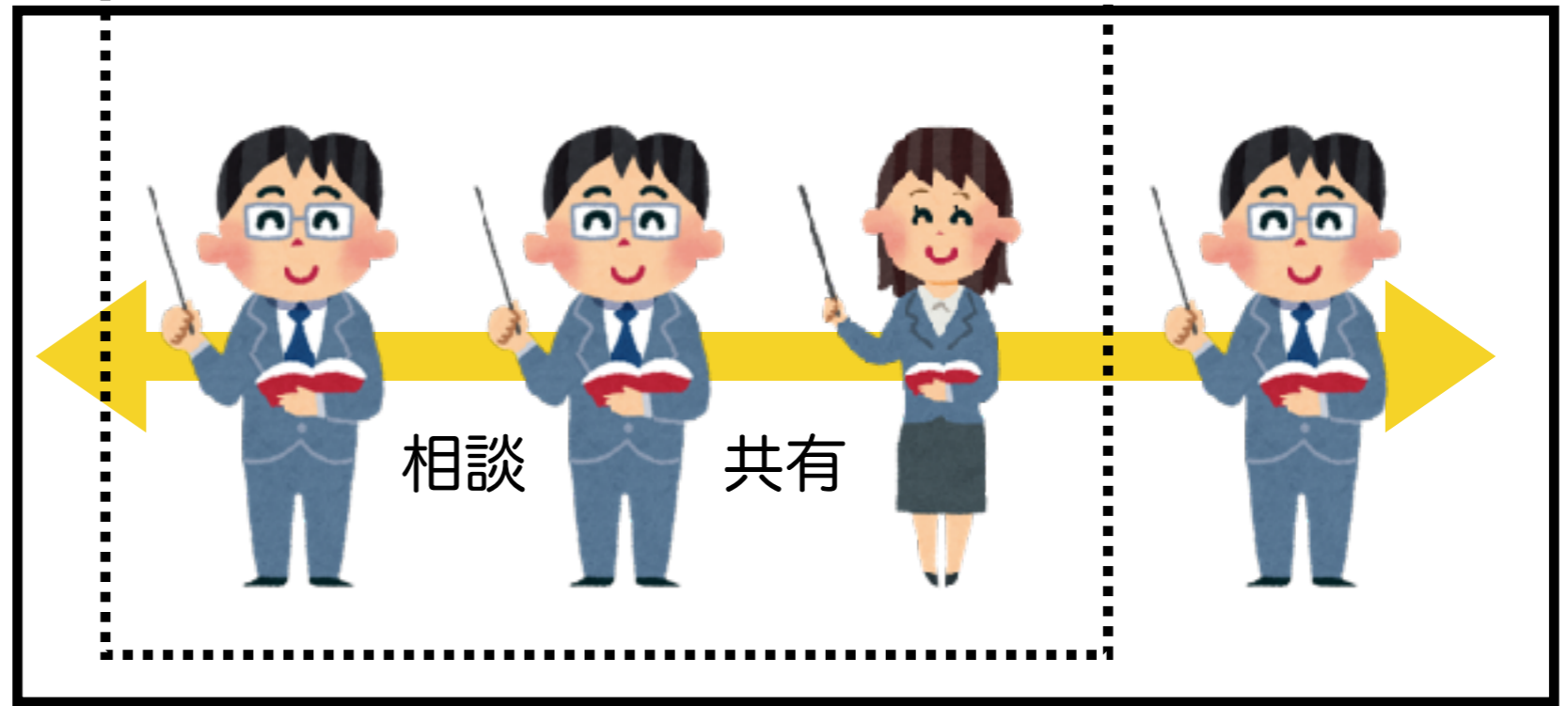


SGH後の指導体制

グローバルな
アドバイザー

本日のコンサルティング担当

教員チーム



指導
報告
相談



指導
報告
相談



指導
報告
相談



指導
報告
相談



情報共有

SGHを推進するための体制（H29）

横串：学年部と教科横断型の推進体制（平均：1チーム1名体制）

縦串：SGH推進チームとキャリア教育主任とコーディネーター

科目	受講者数	体制
夢探究Ⅰ（1年） 16チーム	64名	早川（国語）、清山（社会）、安田（英語）、山中（数学）、大上（家庭）、南口（理科）、岡田（国語）、 大野、奥田、曾根（コーディネィ）、鍋田（キャリア）
地域生活学（2年） 16チーム	66名	中村（社会）、高松（数学）、服部（英語）、田村（社会）、高木（情報）、河内（保健）、石飛（国語）、鍋田（キャリア）、大野、奥田、曾根（コーディネィ）
地域地球学（3年） 5チーム	23名	中山（理科）、南口（理科）、若林（理科）、 鍋田（キャリア）、大野、曾根（コーディネィ）

空き家を活用でまちづくりに貢献する

教員

役場職員をアドバイザーに



探究学習と英語科の連携



教室レイアウトも探究学習用に変更

バーを
福祉担当に分ける

B

福祉

C D



すぐに他教科にも波及（国語）



ご清聴いただきありがとうございました